

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 19

事務事業名	総合計画進行管理事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市長公室		
課名	企画調整課		
課長名	増田 正治	内線	221
担当者名	赤瀬雅昭	内線	226

基本目標		持続可能な行財政運営と市民協働の推進
政策	060101	効率的で開かれた行政運営の推進
施策		効率的な行政運営の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	2	総務費
項	1	総務監理費
目	6	企画費
事業コード	060200	総合計画進行管理事業

事業類型	2	内部管理事務
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか			第5次大村市総合計画(基本構想・基本計画)		
意図	対象をどのような状態にしたいか			大村市総合計画に掲げた指標を達成するため、施策の進行管理を行う。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か			総合計画の進行管理を行うため、基本計画の各施策ごとに掲げた指標について毎年度達成状況の確認を行うが、指標によっては達成状況の把握が困難な事項があるため、市民アンケート調査を実施する。大村市総合開発審議会を開催し、総合計画の進行状況について審議する。		
事業期間	平成 28 年度	～	平成 37 年度	実施方法	直営	
根拠法令、要綱等	旧 地方自治法第2条					
国・県補助事業に係る本市単独施策	無					

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① アンケート調査票配布数	計画値	1,500	1,500	1,500	1,500		
		実績値	1,500	3,000	1,500			
	市内在住の18歳以上の男女	達成度	%	100.0%	200.0%	100.0%		
		計画値		2	2	4		3
成果指標	② 総合開発審議会の開催回数	実績値		1	1			
		達成度	%	50.0%	50.0%	25.0%		
	① アンケート調査票回収率	計画値		50	50	50		35
		実績値		36.7	32.1	35.1		
② 総合計画に掲げた数値目標の達成率	達成度	%	73.4%	64.2%	70.2%			
	計画値		70	70.0	70.0	70		
	実績値		66	64.0	61.7			
	達成度	%	94.3%	91.4%	88.1%			

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	324	458	204	1,668	589	589	589	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	324	458	204	1,668	589	589	589	
② 人件費(千円)	5,964	378	353	2,182	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.75	0.05	0.05	0.30	・審議会の開催 ・市民満足度調査の実施	・審議会の開催 ・市民満足度調査の実施	・審議会の開催 ・市民満足度調査の実施	
時間外勤務(時間)	2							
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	6,288	836	557	3,850				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	年度当初に市民アンケート調査を実施するとともに、総合開発審議会において、総合計画の進行状況や市民アンケート調査の結果等の報告及び審議を行っている。
事業が抱える問題・課題等	第4次総合計画の計画期間が平成27年度で終了し、平成28年度から第5次総合計画に移行する。このため、より効率的で効果的な進行管理のあり方についても検討する必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

アンケート調査に関しては、発送は市内特別郵便(バーコード印字)、返信は料金受取人払で実施するなど、コスト削減に努めている。

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性
 現状維持

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	総合開発審議会の意見や市民アンケート調査の結果について各関係部署への周知に努め、施策や事務事業の改善・改革につなげる。 また、第5次総合計画の進行管理について、より効率的で効果的な管理のあり方についての検討を行なう。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。